

学校 東雲 (しのめ)

だより



TEL 31-3170 31-3180 FAX 32-1130 http://hachinohe.ed.jp/higasi_j/

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

市中体前「教育講演会」から何を学んだか？

東中学校では、市中体夏季大会前のこの時期、「生徒の心に火をつける」ことを目的に教育講演会を企画・実施しております。一昨年は、今夏のロンドンオリンピックのレスリング競技で日本代表となった小原日登美さん、昨年はアームレスリング車椅子部門の元世界チャンピオン、高橋幸治さんのお話を聞きました。今年5月30日に、甲子園大会で2大会連続で準優勝を果たした、光星学院高校硬式野球部監督の仲井宗基さんを招いて開催しました。

「目標を明確に持つことが大切」「当たり前のことを当たり前に行うことが運を引き寄せる」「気持ちや感情をコントロールすることは意識すればできる」等の示唆に富む言葉がいっぱいあり、生徒たちは真剣に聞いておりました。また、保護者や地域の方々も30名ほどご来校いただき、熱心に耳を傾けておりました。

仲井監督の講演内容は裏面に、生徒の感想は以下に掲載いたしますのでご覧いただき、講演会の雰囲気を感じ取っていただければ幸いです。

今日の講演を聞いて、市中体へのやる気がどんどん湧いてきました。

私は部長なので、女子卓球部のために、今からできることはないか、リーダーだけでなく部員全員ができることはないかと話を聞いているうちに、一つ分かったことがありました。それは、仲井先生が初めに話した「Plan-Do-See」が女子卓球部に足りなかったということです。第一に計画がありません。〇〇中と対戦する、それならどのようにしていくのか、団体の目標はベスト8なのか、ベスト4なのか、優勝なのかという点がまるっきり欠けていました。だから、次の「Do」に進めず、中途半端な所で負けてしまっていました。そして最後の「See」。これは最も重要でありながら、できていません。負けてしまった→ドンマイ、次がんばろう…。それだけで、次にどう頑張るのかが確認できていませんでした。この3つができていないために、今まで完全に団結しきれていなかったことに気づかされました。

「当たり前のことを当たり前に行う」とことは、前顧問だった下山あずさ先生の時からのルールでした。しかし、最近、そこがゆるんできている気がしていました。そのため、春の大会もイマイチな結果でした。しかし、今日仲井先生の話聞いて、やっぱり基本が大切なんだ、と改めて感じました。これから約2週間の間に、女子卓球部を進化させ、全部活動(全校)一丸となって夏季大会に臨み、数年前の先輩達がとった7冠を上回る結果を残したいと思います。

今日、仲井先生の話で学んだことを生かし、大会だけでなく、日々の生活でもしっかりやっていきたいです。(3年4組 江渡明香)

私は、光星の野球部は甲子園に行っているのだから、特別な何かをしているのかと思っていましたが、そうではなく、当たり前のことをどれだけきちんとやるかが、成長するかしないかなんだとわかりました。東中学校でやっているのと、特別何かが違うというのではありませんでした。

野球部は「あいさつ」「返事」「声」「ダッシュ」の4原則を特に気をつけているそうです。東中学校でも、あいさつと返事は基本中の基本です。最初、入学した時は「そんなの当たり前じゃん」などと思っていましたが、今まできちんとあいさつや返事を意識してやったことがなかったため、ついつい忘れてしまうときがあります。でも、どこにいても、これから生活していく中で本当に大切だと思うので、意識を高めていき、今まで以上に頑張っていきたいです。

そして、部活では、声だしとダッシュがすごく大切になってきます。今は、1次審査も終わり、市中体に向けて部活もしっかりとやっていたいかなければなりません。ですから、自分自身が向上するためには、言われたことを素直に聞き、改善していかなければいけないと思います。

1年生は試合に出ないので、必死に応援するしかありませんが、気持ちを切りかえて、少しでも長く今のメンバーでやっていると、一生懸命声を出そうと思います。

私は、50分間ただ座っているのと、集中して取り組む勉強のしかたとは、全然違うと思ったので、しっかりした態度で取り組みたいです。(1年2組 河野由依)

